

神海丸だより

令和元年10月14日

第3号

操業は、台風の接近のために12日目が千秋楽となりました。今回は、これまでの操業中の様子をまとめてみました。

適水1回目

操業5回を行った次の日は適水といって操業が休みになりました。休みといっても、航海・機関当直、食当には休みはなく、テクノコースの生徒は船橋で見張りを行い、エンジニアコースの生徒は機関整備作業を行っていました。また、午後からの学習時間には、エンジニアコースの生徒は、専攻科生から主機関の燃料噴射弁の説明を4班に分かれて行いました。



操業6～12回目

操業の中盤戦となるこの頃には、獲れたマグロの刺身が2日にいっぺんくらいの間隔で夕食時に出てきます。マグロの胃袋やカブト焼きなどの普段は食べられない部位も出てきて生徒は喜んで食べていました。



10月10日

揚げ縄開始前に、神海丸の近くで同じようにマグロ漁業実習を行っていた宮崎海洋高校の練習船「進洋丸」が神海丸のすぐ横を通りました。同じくマグロ漁業実習に頑張っている生徒達にお互いに「頑張れよ！」とエールを送っていました。

